



若手幹部育成プロジェクト 泉大津市消防本部



泉大津市消防本部では、平成30年度から若手幹部育成のための「やってみなはれ」プロジェクトに取り組んでいます。

当プロジェクトは若手幹部(30代の消防司令補・消防士長)が、「トライ&エラーを繰り返そう!ダメなら即方向転換!2割ヒットすればよし!」という攻めの精神のもと、消防業務全般からテーマを提案し、企画・立案・実行・報告を1人で担当することにより、企画立案のスキルを向上させること、また、若手幹部の柔軟な考えを消防業務に反映させることを目的としています。

元営業マンによるビジネスマナー講座で接遇レベルが格段にアップしたことや、高層耐火造火災に特化した訓練により連結送水管への慣熟・狭所巻き等の技術向上が図れたこと、模擬議会の開催による議会对応力の向上・管理職候補の育成等の効果がありました。

今後も、若手幹部の持つフレッシュな力により消防本部全体が成長し、市民サービスの向上が図られると考えております。



吹田市消防本部

吹田市国民保護実働訓練に参加しました

吹田市消防本部は令和2年2月12日(水)に大阪モノレール万博記念公園駅周辺で実施された、吹田市国民保護計画に基づく「吹田市国民保護実働訓練」に参加しました。

本訓練は万博記念公園駅に爆発物を設置した旨のテロ予告があったとの想定で、テロ災害への対応力の強化を図るとともに、各関係機関との連携及び指揮系統を確立させ、防災関係機関相互の情報共有及び連携強化を図り、テロ災害に万全を期すことを目的としたものです。

当日は、大阪府関係部局、市関係部局、警察及び関係・協力事業者と合同で訓練を実施し、テロ災害への対応及び情報伝達・情報共有の重要性を再確認し訓練を終了しました。

テロ災害は発生の予測が困難なうえ被害が大規模になる可能性も高いため、消防だけの対応には限界があり、関係機関との連携が必要不可欠です。また、関係機関との訓練を継続していくことで、今後も市民の住みやすい安心安全なまちづくりを目指します。